

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 A-4「国語」を実施しました！

「国語科の『問題解決学習』の授業づくり」

【講師】元明星大学 教授 白石 範孝 さん

7月31日(金)、「国語」の講座を実施しました。

前半は白石先生から「『主題』を読む・『要旨』を読む」とは、どういうことなのかを、小・中学校の教材を使いながら具体的にご教示いただきました。物語文では、学習のはじめとおわりに「主題を一文で読む」ことをご提示いただき、「〇〇が、★★によって☆☆する話 or なる話」と書くことやクライマックスを定めることで、全体から中心人物の変容を読むことが可能になると教えていただきました。説明文については、「要旨」を子どもたちが論理的に考えて導き出していく流れとともに「何をおさえれば読んだことになるのか」を実演していただきました。まずは形式段落に数字をふり、「はじめ・中・おわり」に分けることから始めます。この三部構成については、意見が分かれることもよくあるので「段落ごとの要点をまとめる」ことがポイントになるそうです。また「要旨は筆者の主張を抽象化した言葉で表したもの」と話されました。後半には、白石先生からご教示いただいたことを踏まえて、「主題は何か」「要旨はどうなるか」について1つの教材に絞り、「個人で考える➡グループで伝え合い、考え合う」時間をとりました。アンケートには「他の先生方の考え方を知ることができ、刺激の多い学びになった」「みんなで教材研究をする時間は大切。2学期から同じ学年の先生と少しの時間でも一緒に研究していきたい」という声が多くありました。ご講義の最後には、白石先生自らが作成された教材解釈のノートや文章構造図・文章構成図をお示しいただきながら解説されました。受講された方からは「『なるほど』とスッと自分の中で落ちました」という感想がみられました。

参加された先生方には、実践に活かしていただくとともに、各校でも還流していただきますよう、お願いします。

アンケートより【一部抜粋】

・文学作品では場面分けをして、その都度「この時の主人公の気持ち」を問うような授業ばかりしていました。今回、教材研究の仕方を学び、実際に分析してみました。悩むところはあったけれど、グループで検討していく中で、少しずつ自分の中でも整理されていく感覚になりました。授業する際「ここに気づかせたい」というポイントを絞って、2学期から活かしていけたらと思います。【小】

・文学作品と説明文の考えるポイントについて教えていただきました。そのポイントに当てはめるように読んでいくと、物語の中で「伝えたい事は何か」を自分の中で考えやすかったです。また他の先生方と考えたことを話し合う中で、さらに深く考えた内容となりました。今年4年担任をしているので「ごんぎつね」について考えることができ、とてもいい勉強になりました。2学期、子どもたちの実態に合わせて活かしていきたいです。【小】

・後半、実際に「少年の日の思い出」で分析してみても、少し難しかったですが、すっきりと整理できたように思います。物語の授業では、登場人物を書き出し、人物像を捉えることばかりをしていました。教材研究の際、三部構成で捉え、中心人物の変容や主題を考えたいと思います。【中】

・お話を聞くだけでなく、個人での分析やグループでの話し合いがあってよかった。次回も中学校の教材も使って研修をしたい。最後に配られた資料がわかりやすくて、授業や教材研究で活用したい。

【中】